「議員さん出番ですよ」の成果報告が届きました

　昨年の夏に、ある県の議員さん方の研修会で「ＥＳＤ，ＳＤＧｓ推進の重要性と方策」について「議員さん出番ですよ」のタイトルでお話しましたが、それを踏まえ、慎重なご準備を進めたある議員さんから、次のような報告が届きました。

【昨年の夏に、手島先生の講演を聞かせていただき、また、毎回送付いただいている情報を勉強させていただき、今回の〇月議会で、県内各市町村、中小企業へのＳＤＧｓの普及・促進の続きとして、教育現場についての普及・推進を質問させていただきました。ＥＳＤカレンダーという言葉までは引き出せませんでしたが、教科等横断的な視点でのカリキュラムへの意識は持ってもらえたかなと思っております。今後とも、継続して、教育についてテーマとしていきたいと思っておりますので、ご指導のほど、宜しくお願いいたします。】

（県議会での一般質問）教育現場におけるＳＤＧｓ教育の推進

教育現場におけるＳＤＧｓ教育の推進についてお伺いします。持続可能な社会を実現し，それを発展させる主体者となっていくのは，現在の児童・生徒の皆さんです。この児童・生徒に対してＳＤＧｓを通した教育を行い，ＳＤＧｓを理解してもらうことは，非常に重要であると思います。更に，それを教える教職員の皆さんのＳＤＧｓに対する理解が非常に重要であることは，言うまでもありません。また，２０１７年３月には，小・中学校の学習指導要領が改訂されて，小学校では２０２０年度から，中学校では２０２１年度から全面実施される予定です。この改訂には，ＳＤＧｓを踏まえて「持続可能な社会の創り手を育成する」という「理念」が追加されています。また，「第２　教育課程の編成」において「教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成」が謳われており，社会の様々な課題に対して，総合的な解決策を必要とするＳＤＧｓを推進していく上で，非常に重要な観点であると考えます。

本県では，ＳＤＧｓの視点を踏まえた授業を実施したり，教科毎に持続可能な社会の構築に向けた指導を実施しておりますが，ＳＤＧｓの重要性を訴える授業の実施や学習指導要領改訂に沿った「持続可能な社会の作り手を教科等横断的な視点に立って育成」を行っていく必要もあると考えております。教育現場におけるＳＤＧｓの更なる啓発や教科等横断的な学習対応の実情と今後の対応について，教育長の御所見をお伺いいたします。

【県教育長答弁】

教育現場におけるＳＤＧｓ教育の推進についてお答えいたします。２０２０年度から小・中学校において順次全面実施となる学習指導要領では、「持続可能な社会の創り手」を育成することが示されており、その実現のために、ＳＤＧｓに関する教育を推進することは、大変重要なことであると考えております。小・中学校の各教科等におきましては、これまでも、ＳＤＧｓを意識しながら、持続可能な社会の創り手を育成することを目的とした学習を行ってまいりました。例えば、小学校の家庭科では、「身近な消費生活と環境」の授業で、物の買い方や使い方、捨て方を工夫して、ごみを減らす方法を考える学習を行っておりますが、これは、ＳＤＧｓの一つである「つくる責任つかう責任」と関連した内容でございます。また、中学校では、社会科の公民的分野での「私たちと国際社会の諸課題」という単元において、例えば、地球温暖化に関する問題について探求し、温室効果ガスを削減するために公共交通機関の利用について考える学習を行っておりますが、これは、ＳＤＧｓの一つである「気候変動に具体的な対策を」と関連した内容となっております。また、昨年度、ユニセフの関係者が本県を訪問し、国際理解教育等について研修するユニセフ・キャラバンを開催した折に、参加した教員が、グループに分かれて、今後どのようにＳＤＧｓを授業で取り上げるか、議論を行うなど、ＳＤＧｓについての理解を深める場を設け、教員のＳＤＧｓに関する意識の啓発にも努めております。

このように、各教科等において持続可能な社会の創り手を育成するための授業や教員向けのＳＤＧｓに関する研修に取り組んできたところでございますが、総合的な解決策を必要とするＳＤＧｓに関する教育を推進していくためには、教科等横断的な視点に立ってカリキュラムを編成することが求められております。例えば、小学校で、ＳＤＧｓの一つである「海の豊かさを守ろう」を学ぶためには、子どもたちが社会科の「水産業における食料生産」、理科の「生物と環境」、家庭科の「衣食住の生活」などを関連づけて考えることができるよう、それぞれの授業を行う時期や授業での取り上げ方を工夫することが大切でございます。それにより、子どもたち自身が、海の豊かさを守ることについて、様々な視点から課題を見いだし、その解決に向けて、議論を繰り返しながら授業に主体的に取り組むことで、持続可能な社会の創り手としての資質を身に付けていくことを期待しています。

そのため、今年度は、教育研修センターにおける、教科等横断的な視点を踏まえたＳＤＧｓに関する授業づくりの研修を、昨年度より拡大して実施することといたしました。県といたしましては、今後も教員研修等をとおして、ＳＤＧｓに関する教員の理解を深めるとともに、子どもたちがＳＤＧｓとして掲げられている目標をより深く理解できるよう教育課程の編成を工夫するなどして、教育現場におけるＳＤＧｓの更なる啓発に取り組んでまいります。

【うれしいお知らせに感動です】

　このようなご報告をいただきました。この議員さんはＥＳＤ，ＳＤＧｓの推進という視点から教育委員会と良好な関係を築き、信頼関係を築いた上での議会での質問をされたようです。そのようなご努力で教育長様から「教科横断的な視点を踏まえたＳＤＧＳに関する研修の拡大・実施」という具体的なお応えをいただいていらっしゃいます。

　教育長様のご答弁全体を拝見しても、教育委員会も十分な準備と配慮がされているように感じます。県教育委員会としてＳＤＧｓに向けて本気で取り組もうとしている姿勢が感じられます。このようなご答弁を引き出された議員の皆様方のお取組みの成果かとお喜び申し上げます。

　この後は、各学校が学校教育全体としてどのような児童観・生徒観に立ち、どのような教育課程を編成し、実践し、評価、充実・発展といった過程を進めていくのかが重要になると思います。またそのような指導の成果が、子どもたちの成長・変容としてあらわれてくることを契機に、教員の意識も一層高まることと思います。

素晴らしい一歩をお創りになったこと、おめでとうございます。今後とも一層、ご活躍されることと期待しております。ありがとうございました。